

私たちの活動や意見を仲間で共有します。
会費は県と日本平和委員会の活動も支えます。

土浦平和の会ニュース

2021年8月15日 第354号

発行：土浦平和の会

事務局：土浦市烏山2-530-296

HP：//heiwatutiura.web.fc2.com/

県知事選

いのち・暮らし最優先、平和への願いこめて

8/19告示
9/5投票

田中しげひろさんで県政転換を



田中しげひろさんの基本政策より

- 原発依存を脱し、自然エネルギーで雇用をつくる
- 憲法と住民自治を暮らしに生かす社会の実現

土浦平和の会、ニュース読者のみなさんへ
残暑お見舞い申し上げます

コロナ禍で不安な毎日をお過ごしのことと思います。コロナ下の2年目の夏が過ぎようとしています。茨城県そして土浦市民にとっても深刻の度を深めるコロナ禍、スガ内閣の誤った政策は、五輪の強行でいっそう国民の安心・安全を危機にさらしています。この政権が長引くほど国民のいのちと暮らしは削られる一方です。一刻も早いチェンジが求められています。

さて、この秋に必ず行われる総選挙に先立って、茨城県知事選挙が行われます（9月5日投票）。「いのち輝くいばらきの会」は茨城大学名誉教授の田中しげひろさんの擁立を決定しました。私たちにとっても最適・待望の候補者です。この選挙は、東海第2原発の再稼働は認めない、命と暮らし最優先の茨城へという県民の願いを託す選挙です。

会員、ニュース読者の皆様のご支援、ご奮闘を心から呼びかけます。



田中重博さんの略歴

- 1947年 大阪府生まれ(74歳)
- 1970年 京都大学経済学部卒
- 1975年 同大学博士課程修了
- 同年 茨城大学に赴任、以後、88年人文学部教授、04年同学部長、10年副学長を歴任
- 2013年 茨城大学を定年退職／茨城知事選挙に立候補
- 現在 茨城大学名誉教授／茨城県自治体問題研究所理事長／茨城革新懇代表世話人

水戸市堀町在住、家族は妻、一男一女

東海第2原発 再稼働を認めません



再稼働反対 県民の意思は明確です

県民の大多数が
再稼働反対



前回知事選出口調査（NHK）

田中重博さんの出馬あいさつより

大井川県政の4年間は、県民の福祉よりも企業の利益を優先する県政を推進してきました。

その特徴の一つは「中央集権的で国言いなりの行政です。大型公共事業による税金の無駄遣い、国の構想にもとづく病床削減計画などはその典型といえます。

もう一つの特徴は「企業にやさしく県民に冷たい政治」と言えます。「儲かる分野」には人も予算も集中させ、逆に「儲からない分野」は縮小・切り捨ての対象とする。保健所の統合、県立障害者施設の縮小などです。

医療・福祉、教育の全国指標は最低水準を脱していません。全国8位の財政力を有していながらなぜそうなっているのか。税金の使い方が間違っているからです。

焦眉の課題は新型コロナ対策です。速やかなワクチン接種、PCR検査拡大・無料化、十分な補償、医療機関への減収補填を強めます。学生への県独自の緊急支援、子ども医療費を高校卒業まで完全無料化します。

東海第2原発の再稼働は認めず、廃炉にすることを固くお約束します。

原水爆禁止世界大会ナガサキデー集会 土浦会場で12名がオンライン参加

「原爆写真パネル・高校生絵画展」はコロナ
規制で会場周辺封鎖、中止に

長崎市への原爆投下から76回
目の9日、長崎のメイン会場と
全国各地のオンライン会場を結
んで、世界大会ナガサキデー集
会が開かれました。



主催者報告 (安齋育郎立命館大学名誉教授)

■安齋氏は「核兵器使用の非人道性をアピールし、禁止条約に署名・批准する日本政府の実現へ運動と共同を発展させよう」と呼びかけました。

この後集会は2時間半にわたり、国内、海外の来賓あいさつ、田上長崎市長あいさつ、被爆者の訴え、さらに【セッション1】核兵器のない世界への共同、【セッション2】日本と世界、草の根の運動の交流が行われました。土浦会場（県南生涯学習センター）の参加は12名でした。

この集会は、恒例の「原爆と人間展」の特別企画として実行されたもので、集会後の午後は映画「母と暮らせば」（監督：山田洋次 出演：吉永小百合、二宮和也、黒木華 他）の上映会も行われました。



主催：土浦 原爆と人間展実行委員会

コロナ禍拡大

平和の取り組みにも相次ぐ障害

茨城県のまん延防止等重点措置に関連し、土浦市の公共施設の休館及び利用制限も相次ぎ、さらに強化されています。

- 「原爆と人間展」のパネル展示(8/7~11)は会場エリアの閉鎖で中止決定
- 「8・15平和の集い」(映画「おかあさんの被爆ピアノ」上映)は県・市関連部署からの自粛要請で開催前日夜に中止決定
- 公民館等の利用制限で、会議・イベント計画が困難になっています。

オスプレイ来るな!

緊急抗議・要請行動(7/29)



百里基地で8月以降にオスプレイの訓練が行われる計画が防衛省から示された。7月29日、「百里基地反対連絡協議会」は同基地正門前で緊急抗議集会を開きました。

約80人が参加し、訓練中止を求める抗議文を同基地に提出しました。集会では各団体が、オスプレイについて「開発段階から多くの重大事故を起こしている。墜落の危険性が高い飛行訓練実施は許されない」として、訓練計画の中止を求めました。「オスプレイいらない」などとシュプレヒコールを、その後、小美玉、鉾田、行方、かすみがうら、茨城の5市町を訪問。訓練中止の声を上げるとともに、関係自治体での協議の場を設けるなど申し入れました。

地域医療を考える住民ネットワークが総会

医療従事者と患者・住民の連携すすむ

七夕の短冊に綴った願い「みんなでカラオケが歌えますように」

7月3日午前、「地域医療を考える住民ネットワーク」が総会を開きました。(ワークヒル土浦)

2017年、土浦協同病院の存続の懸念を契機に結成された医療従事者(土浦協同病院や霞ヶ浦医療センターなどの労組)と患者・地域住民の連携によって発足したネットワークは、茨城県厚生連労組の尽力で着実に歩んでいます。「この一年、コロナ禍で社会の在り方、私たちの暮らしも大きく変化したのに、残



参加者の願いを飾った七夕かざり

念ながら変わっていないものが「命より金」の政治。この思いを新年度方針に込めました。

□ 総会では、参加者全員の願いを七夕飾りに託しました。ほんの一部を紹介します。

- ☆子ども達の歓声、お年寄りの笑顔あふれる町に
- ☆マスク無しの生活が早くきますように
- ☆気軽に「参加しない？」とお誘いして住民ネットワークを広げましょう
- ☆みんなでカラオケが歌えますように
- ☆おじいちゃんとおばあちゃんが元気にいられますように。背が大きくなりますように。(6歳)

【平和の会へのおさそいを。「平和新聞」購読も広げましょう】

- 幅広い年代からの加入を勧めましょう。ご家族・ご近所・友人・知人などにお声かけを
- 会費：月額500円、「平和新聞」(毎月5、15、25日発行)：月額593円(送料含)

